

東京女子医科大学 附属八千代医療センター (総合周産期母子医療センター)

揺らぎがちな妊産婦さんの メンタルも支える助産師に

出産に立ち会った感動から
助産師を目指す

大学の母性看護の実習で偶然出産に立ち会ったことができ、そのとき「助産師になる」と決めました。看護師国家試験と大学院試験の両立は本当に大変でしたが、「悩むならやったほうがいい」という母の言葉が、私の背中を押してくれました。

当院は実習先として訪れていた頃から、スタッフの皆さんがいつでもこやかで雰囲気も良く、入職も迷いませんでした。生まれも育ちも千葉県で、実家から通えるのも安心材料のひとつでした。

当院の産科病棟は看護職全員が助産師です。総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊産婦さんの入院はもちろん、ローリスクの方の分娩にも対応し、同じ階にあるNICUとも密な連携をとっています。さまざまな経験を積みながらスキルアップできる環境で、現在10名のアドバンス助産師が勤務しています。

辛い時の妊産婦さんに
寄り添う看護も大切

お産の現場は喜ばしいことばかり

ではありません。絶対安静を余儀なくされ、家族と離れ長期入院となる妊産婦さんや、健康上の問題を抱えた赤ちゃんの出産など、辛い気持ちを抱える妊産婦さんやご家族に寄り添うことも少なくありません。

特にここ数年は面会さえままならず、そのため、私たちのケアがより必要とされました。一緒に沈むこともありませんでしたが、チームナーシング制のおかげか先輩や同僚に相談もしやすく、周囲と情報を共有しながらより良い看護を目指せるいい環境だと思っています。また、同期の4人はいつでも頼れる本当に心強い存在で、ここで出会えたことに感謝しています。

千葉県は自然が多くて落ち着いた環境で、八千代市の近辺も静かで住みやすいところがいいですね。私は今年出産を控えていることもあり、長いライフステージを見据えること、地元での就職や、休職制度や育児のための短時間勤務制度などが整っている当院を選んだのは本当に良かったなと実感しています。



まずは無事に出産し、職場復帰を目指します。アドバンス助産師取得も目標です

Hospital Data

東京女子医科大学 附属八千代医療センター

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96
TEL 047-450-6000
URL <https://www.twmu.ac.jp/TYMC/>



Hospital Information

東京女子医科大学附属病院として2006年に開院。千葉県に3つしかない総合周産期母子医療センターの一つを担い、NICU/GCUの他、千葉県初の小児救命救急センター指定を受けてPICUを備え、独立した小児病棟を設置しています。千葉県の周産期から小児期までの医療・看護を提供する高度急性期病院としての役割を果たしています。

助産師は、女性の人生の大きなイベントを支える重要な職種です。妊娠から出産、産後の生活に至るまで切れ目のない助産ケアを提供し、女性の味方として寄り添い続けます。看護師として進路に迷うこともあるかもしれませんが、直感を大事に自分がやりたい道を選んでください。

助産師4年目
母体胎児科病棟
大澤 李彩さん
東京女子医科大学大学院 卒業

